

BLUE LEATHER PROJECT



最前線で働く医療従事者に感謝を込めて

新型コロナウイルス感染者の対応に奔走する医療従事者の方々に感謝の気持ちを示す「ブルーライトアップ」が各地で行われています。

最前線で私たちの命を守ってくれている医療機関や医療従事者の方々の負担は大変大きく、金銭面や精神面のケアが必要とされています。

このような状況で、『長期にわたり最前線でリスクと向かい合いながら尽力されている医療従事者を支援したい』という思いでこのプロジェクトを発足させました。

自動車産業がマスクの生産を、航空会社では防護服のパーツの縫製を、化粧品メーカーは保湿クリームを無償提供など様々な業界で“できる事”に取り組んでいます。

私たちにできることは回復までに長期化が予想させる中、エンドユーザーにこのプロジェクト対象の皮革製品を購入してもらい、その収益の一部を医療従事者に寄付する取り組みです。

「新型コロナウイルス感染症拡大によって取引先の多くが販売や生産計画を見直さざるを得なくなり、浅草の靴産業はかつてないほどの厳しい状況に強いられております。しかし、受け身のままでは停滞した状況は変わりません。何かをきっかけにエンドユーザーを動かすことを考えないといけないのではないかと思います。」と藤田社長。皮革や靴関連の企業が経営の立て直しに精一杯になっている中においても、『他人を思いやる心を忘れず、前に進んでいくきっかけにできれば』と、今回のプロジェクトを発足。

外部のデザイナーに依頼し、ハートのモチーフで皮革のロゴを表現したポスターを制作。賛同する企業は33,000円を支払う。集まった総額から事務手数料を除き医療従事者に寄付。

店頭ではポスターの掲示とともにブルーの革製品を集積した売り場を作ってもらうなどして、消費を喚起。素材の仕入れは問わず、他社から仕入れた皮革で作られた製品も含めブルーカラーを打ち出して、メリハリのある売り場作りに役立ててもらおう。

ブルーレザープロジェクト事務局 (株)丸喜